

給食食材放射性物質の分析結果等及び今後の対応について

1 経緯

平成23年3月11日の東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い発生した放射性物質による食品への汚染について、市民や農産物の生産者から不安の声が市に寄せられていた。

その後、平成23年11月に独立行政法人国民生活センターから測定機器を借り入れ、市独自の分析を平成24年4月から実施している。

2 実施内容

- ① 学校給食及び市内全公・私保育所・園の給食食材の分析を毎日行う。
- ② 下処理が済んだ食材を一定量混合し測定する。
- ③ 分析後、結果を1週間分まとめて翌週月曜日までに市ホームページに公表する。

3 これまでの分析結果

平成24年の分析開始から基準値を超える実績なし。

4 今後の対応について

保育所・園の意向を確認しながら分析日数を検討する。